

【參考資料】

大阪市におけるHIV感染の状況について (平成29年)

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者(平成29年1月1日～12月31日)の報告状況は次のとおりです。

(1) 年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
合計	2148	556	2704

注) 後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後(平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合)血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

(2) 感染経路別 HIV感染者・エイズ患者報告数

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	6	2	8(6.0%)
同性間性的接触	88	23	111(83.5%)
静注薬物使用	0	0	0(0.0%)
母子感染	0	0	0(0.0%)
凝固因子製剤(注)	0	0	0(0.0%)
その他	0	2	2(1.5%)
不明	6	6	12(9.0%)
合計	100	33	133

(3) 国籍・性別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
男性 (日本人)	90	31	121
(その他)	9	1	10
(不明)	0	0	0
女性 (日本人)	1	0	1
(その他)	0	1	1
(不明)	0	0	0
小計： 男性	99	32	131(98.5%)
女性	1	1	2(1.5%)
合計	100	33	133

(4) 年齢区分

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	0	0	0
20歳代	29	3	32
30歳代	41	9	50
40歳代	21	14	35
50歳代	8	5	13
60歳以上	1	2	3
合計	100	33	133

(5) 感染地域別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国内	88	28	116
海外	7	1	8
不明	5	4	9
合計	100	33	133

大阪市におけるHIV感染の状況について(累計)

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者(累計;平成元年2月17日～平成29年12月31日)の報告状況は次のとおりです。

(1)HIV感染者・エイズ患者報告数(累計)

	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
	2148	556	2704

(2)感染経路別(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	258	109	367
同性間性的接触	1714	344	2058
静注薬物使用	6	1	7
母子感染	2	1	3
凝固因子製剤(注)	0	0	0
その他	38	20	58
不明	130	81	211
合 計	2148	556	2704

(4)国籍・性別(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
日本人 男性	1964	518	2482
女性	32	6	38
その他・不明 男性	116	19	135
女性	36	13	49
合 計	2148	556	2704

(3)年齢区分(累計)

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	28	2	30
20歳代	767	68	835
30歳代	826	163	989
40歳代	365	164	529
50歳代	101	105	206
60歳以上	61	54	115
合 計	2148	556	2704

(5)感染地域別(累計)

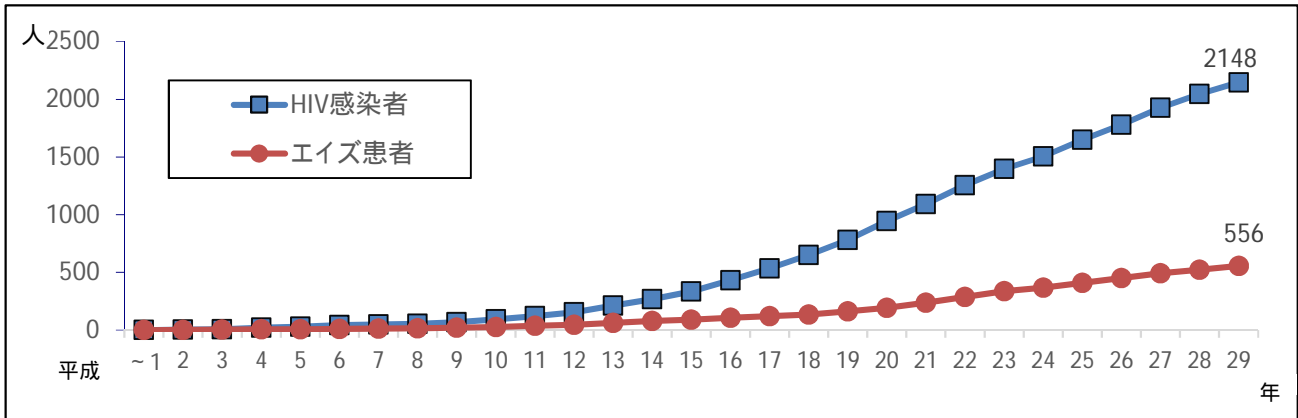
区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国 内	1934	450	2384
海 外	80	32	112
不 明	134	74	208
合 計	2148	556	2704

注)後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後(平成元年2月17日以降、平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合)血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

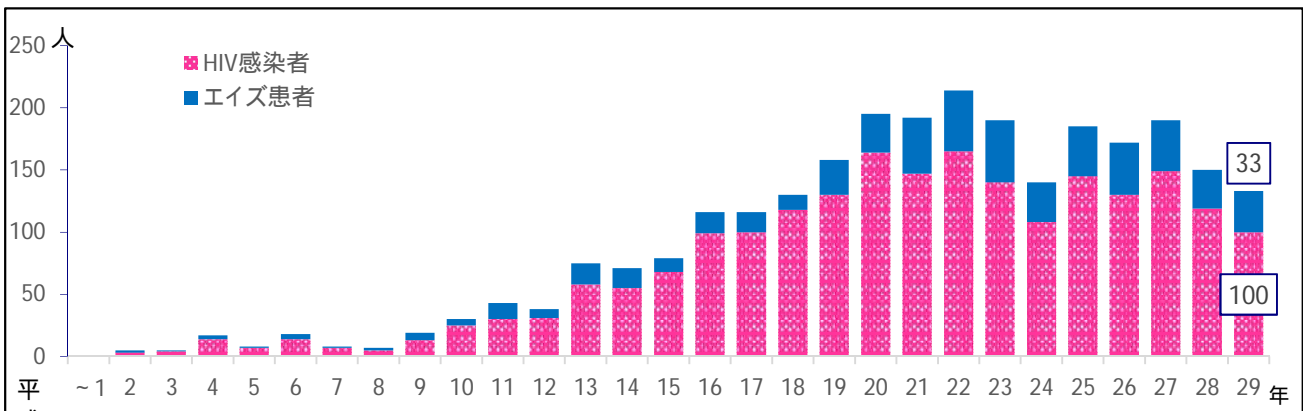
大阪市におけるHIV感染の状況について(平成29年)

(平成元年2月17日～平成29年12月31日診断届出分)

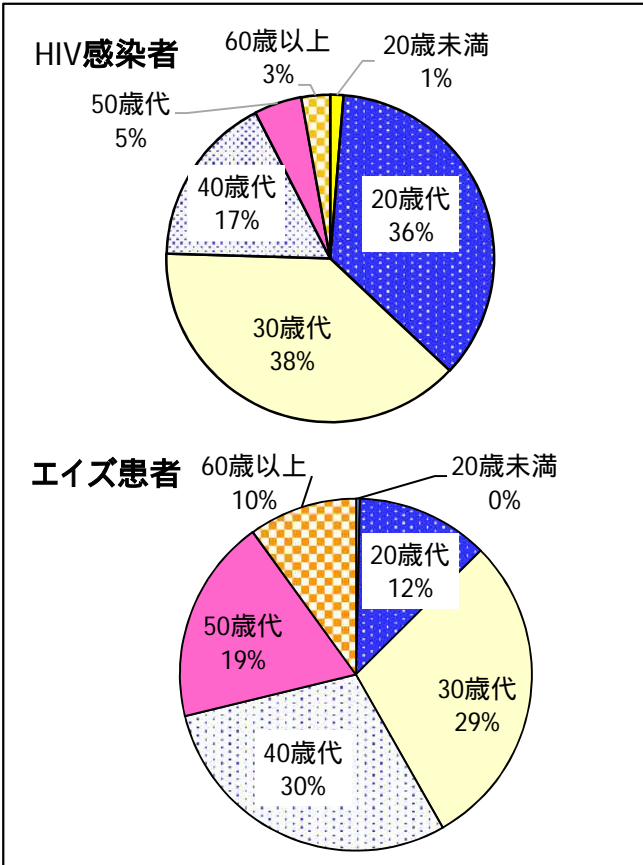
HIV感染者・エイズ患者の年次推移 < 累計 >



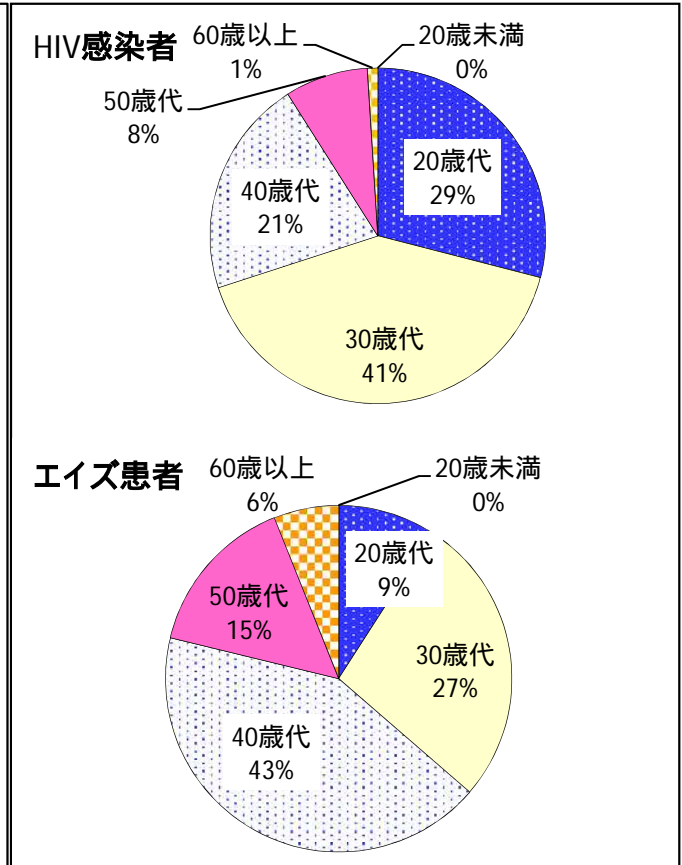
HIV感染者・エイズ患者年次別届出数推移



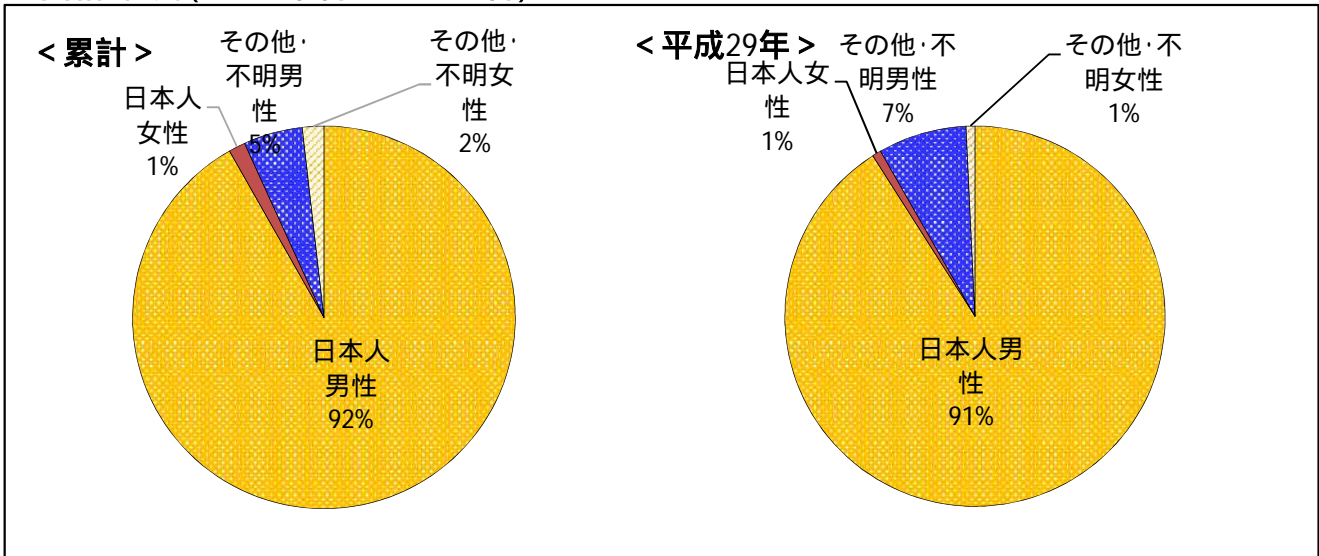
年齢区分 < 累計 >



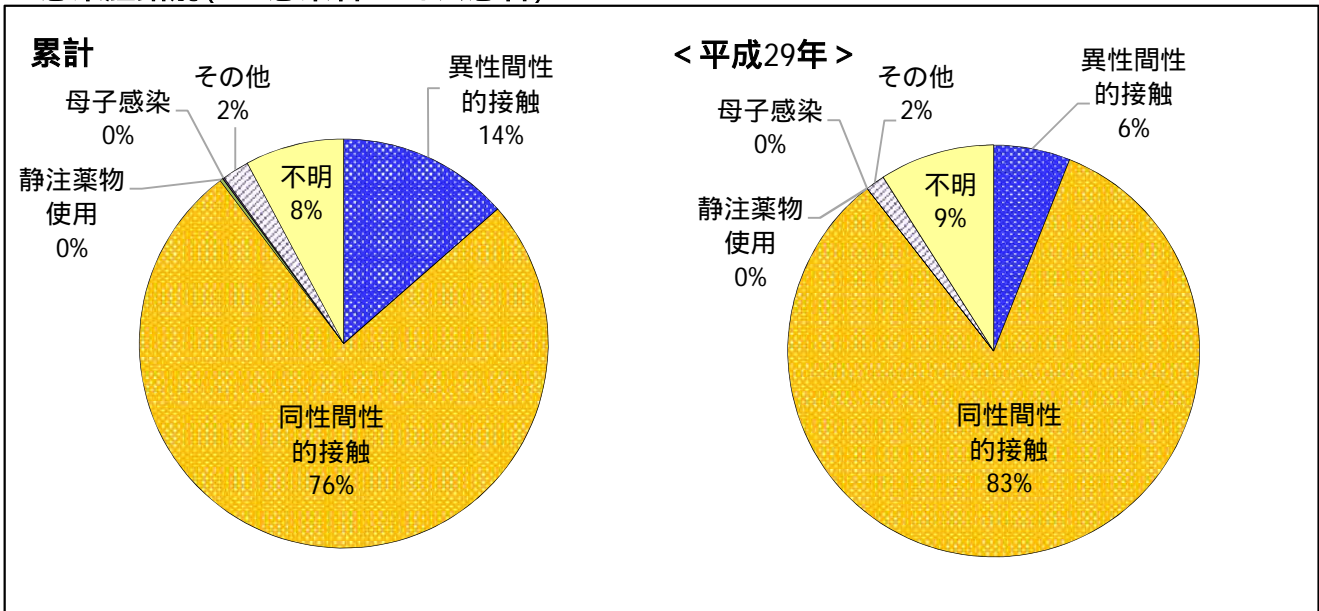
年齢区分 < 平成29年 >



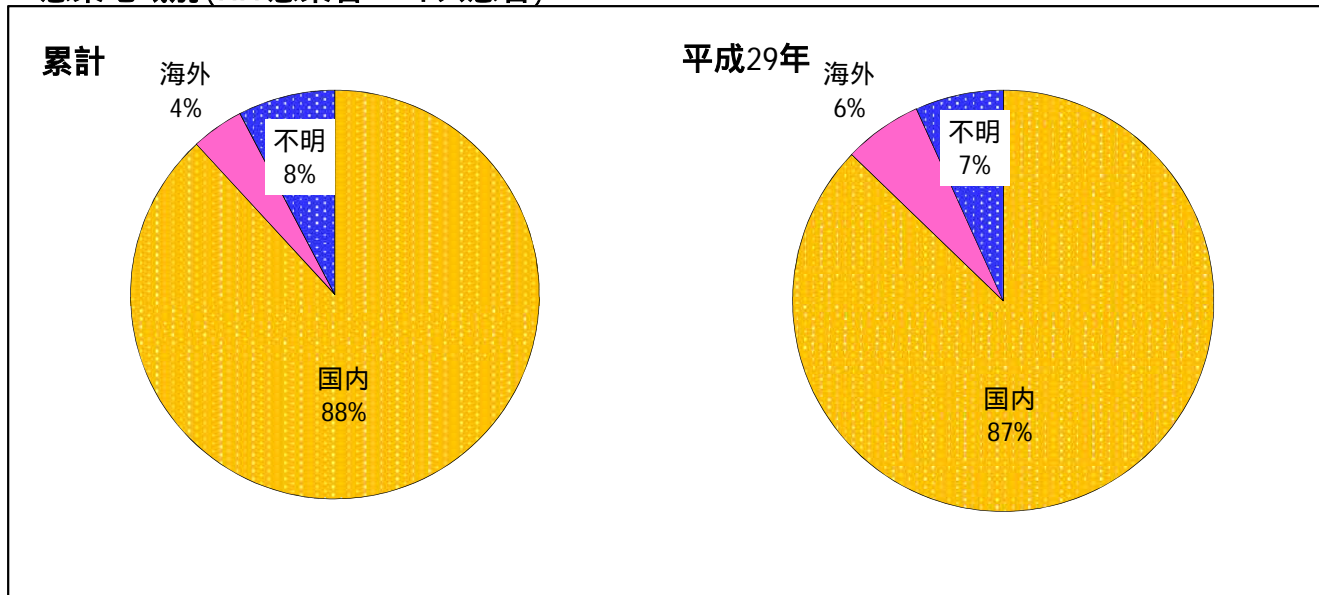
国籍・性別 (HIV感染者・エイズ患者)



感染経路別 (HIV感染者・エイズ患者)



感染地域別 (HIV感染者・エイズ患者)



新規報告数(HIV感染者+エイズ患者)に占めるエイズ患者の割合

